

第1号様式（第7条関係）

## 環境マネジメントシステム導入報告書

|  |  |
|--|--|
| ( 宛 先 ) 京 都 市 長                              | 平成 28 年 6 月 30 日   |
| 報告者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）<br>京都市北区紫野北花ノ坊町96 | 報告者の氏名（法人にあつては、名称及び代表者名）<br>学校法人 佛教教育学園<br>理事長 豊岡 鎌尔                     |
| 京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。              |  |
| 環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称                | エコ京都21アドバンス 地球温暖化防止部門  |
| 適 用 範 囲                                      | 学校法人 佛教教育学園 佛教大学   |
| 導 入 年 月 日                                    | 平成 26 年 8 月 1 日  |
| 認 証 番 号                                      | 26-温暖化防止第2号  |
| 基 本 方 針                                      | 地球温暖化防止に向けて、様々な環境負荷に関する情報を継続的に把握・検証し、エネルギー使用量の低減に取り組み、温室効果ガス排出量の削減推進を図る。 |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）       | 平成23～25年度を基準年とした計画期間中に年平均2%以上の温室効果ガス排出量の削減を図る。                           |
| 目標を達成するための取組の内容                              | エアコンの設定温度の徹底、高効率・省エネ型機器への更新  |
| 目標を達成するための取組の進捗状況                            | 平成23年度よりエアコンの設定温度の管理、高効率照明・省エネ型機器へと更新している。                               |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価                  | エネルギー使用量の低減に取り組んだ結果、排出量が低下した。  |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況                              | これまでに違反並びに行政当局からの指摘はなく、法令は遵守している。  |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容                      | 評価・見直しの必要性については、原則年1回検討を行っている。平成27年度も見直しを実施したが、目標は達成されており前年度から変更点はない。    |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。